

○ 活動の感想

- ・たくさんのジャガイモ、玉ねぎ、トマトをいただきました。
- ・岩手電力株式会社経由でナナツノツキノ様よりお米をいただき、使わせていただきました。
- ・調理ボランティアが少なめでしたが、夏休み中または夏休み明けたばかりのためか参加者もいつもより少なめだったので、大きな負担はなくスムーズに調理することができました。
- ・岩手日報がジュニアウィークリーを継続的に寄付くださるので、こどもたちに配ることができ、こどもたちもたまには読んでみようという気持ちになるようで、新鮮な気持ちで新聞に目を通す機会になり感謝です。
- ・雨の1日という予報で、室内にずっと過ごすとうなるかなと案じていましたが、止んでいる時間も長く、子どもたちは、止むとすぐに公園へ行き、降ると室内で楽しく遊ぶを繰り返していました。
- ・異年齢（5歳～6年生の男女）で学校なども異なる子どもたちが、ずっと一緒に遊んでいるのは素敵だなと思いながら見ていました。「そんなのやりたくない！」というわがままを言う子がひとりもなく、次々と宝探しやかくれんぼ、おにごっこなど遊びを考えれば、みんなで取り組み、そして夕食も一緒にテーブルで食べるという素敵な仲間意識が芽生えていました。人に合わせる、協力する、楽しむことをこども社会で体験しているようです。

○ 今後の課題

- ・夏の終わりではあるが、まだジメジメした湿気が多い日々なので、衛生面や調理面に細心の注意を払い、食材も当日の朝に購入するようにしている。
- ・毎回ボランティアが何人来てくださるかわからないのと、寄付でいただく野菜など何がどれだけ与えられるかわからないので、どこまで手間をかけたメニューを出すことができるのか、前日まで決まらない点において改善方法があるか、スタッフで検討していきたい。
- ・パンフレット印刷ができあがったので、新しい方々が来られるように配ってきたい。